



つるせ台小だより

子どもたちの笑顔があふれ、家庭・地域と共に学び合う活力のある学校

本物のオーケストラがやってきた

校長 藤谷 健二

6月に、文化庁の舞台芸術等総合支援事業（学校巡回公演）の一環として、つるせ台小学校で東京交響楽団の皆さんによる演奏会が行われました。この事業は、トップレベルの本物に触れることで将来を担うすべての子供達の豊かな感性を育み、芸術鑑賞能力の向上を図ることが目的の1つにあります。本物に触れることで、子供達は感性が研ぎ澄まされていきます。時代を超えて愛される美しさに心が震える体験ができます。

子供達は、体育館に入った瞬間から非日常の世界へと誘われていきました。約70名の演奏者や楽器を間近で見、そのスケールの大きさに圧倒されている様子でした。

スタートは、ロッシーニ作曲・歌劇『ウィリアム・テル』序曲から「スイス軍の行進」。トランペットとホルンのファンファーレが、高らかに響き渡り、子供達は目を輝かせながら音楽のワンダーランドに惹き込まれていきました。続いて、「ディズニーのメロディーによる管弦楽入門」で親しみのある曲が流れ、体を揺らしてリズムを楽しむ子や、それぞれの楽器の音に耳を傾ける子の姿も見られました。

ヴァイオリニストの土屋杏子さんのソロ演奏では、その優雅な音色に会場はしっとりとした雰囲気になっていき、指揮者体験コーナーでは、代表の3人が、指揮者の大井剛史さんからレクチャーを受け、実際にタクトを振り大きな拍手が沸き起こりました。

アンコールでは、「天空の城ラピュタ」の主題歌「君をのせて」で、イントロが流れると会場全体が一気に静まり返り、最後の音まで名残惜しむように聴き入っていました。

感想の中に「初めて見た楽器もあったけど、皆さんの演奏がとても素晴らしかった。」や「いつか自分でもこんな風に演奏できるようになりたい。」「ハープは、音楽の中に魔法をかけているようでとても素敵でした。」とありました。子供達は、非日常の世界にすっかり魅了されていました。

本物に触れる体験をすることで物事の本質を学び、自分の心の中に軸をもち生きていくことができます。今回の公演をとおして、本物の凄さを目の当たりにし、子供達は、未知の世界、想像の世界を超える感動を味わうことができたと思います。

これから夏休みに入ります。音楽だけでなく様々な非日常の世界が広がっていきます。いろいろな本物に触れるチャンスです。たくさんの体験や経験をして、一生の思い出に残る夏休みとなるよう、楽しく安全に過ごしてほしいと思います。

5年生・林間学校～楽しく活動してられました！～

7月3日(木)～4日(金)にかけて、山梨県・富士河口湖方面に林間学校へ出掛けました。富士樹海ハイキングやキャンプファイヤー、飯盒炊爨によるカレー作り等、思い出に残る林間学校となりました。



各学年の1学期の思い出



1・2年生 こいのぼり集会



3年生 ほうせんか种植え



4年生 手話読み聞かせ



5年生 リレー学習



6年生 ヘルプ隊の活動



ひまわり おいしすぎるレストラン



交通事故防止について

交通事故防止のため、「飛び出しをしない」「自転車等に乗る際はヘルメットを着用する」等の交通ルールを徹底してください。また、水の事故にも十分気を付けるようにお願いします。

エコライフの取り組みについて

今年の夏休みもエコライフの取り組みがあります。別途配付の案内用紙にあるQRコードから、取り組み状況を報告します。各ご家庭でぜひ取り組んでいただくよう、お願いいたします。

※8月10日(土)～17日(日)は学校閉庁日となります。緊急の際は、富士見市教育委員会までご連絡ください。(Tel. 049-251-2711)

※8月27日(水)より、給食開始となります。

※9月17日(水)～18日(木)に6年生の修学旅行(日光方面)が実施されます。この2日間、6年生は通学班では登校しませんので、予めご注意ください。